横手市造形教育研究会

会員数
14名

組織

会長	美濃俊幸	（横手南中学校）
副会長	藤井志津子	（醍醐小学校）
研究部	長柴田緩子	（横手北中学校）
事業部	長高橋輝樹	（横手明峰中学校）
監事	千田圭子	（十文字小学校）
	武内美保子	（浅舞小学校）
事務局	佐藤潤	（横手南中学校）

主な事業

南ブロック造形教育研究会合同研修会
令和６ 年８ 月７ 日（ 水）
会場：大曲交流センター
内容：講演会・授業構想検討会等

横手市教育推進委員会“自ら学ぶ子ども”の育成推進事業授業研究会
令和６ 年１１月８ 日（ 金）
会場：横手市立平鹿中学校

横手市児童生徒美術展
令和６ 年11月18日（月）～21日（木）
会場：横手駅前交流センターＹ ２プラザ

秋田県児童生徒美術展地区審査
令和６ 年11月21日（木）
会場：横手駅前交流センターＹ２プラザ

研究会の記録

○ 南ブロック造形教育研究会合同研修会

・午前は「造形的な視点で“ 見つめ”、感性をはたらかせて思いを“ めぐらせ”、自分としての意味や価値を“ つくりだす”これからの図画工作、美術教育」と題した東良雅人氏（ 元文部科学省初等中等教育局視学官）の講演会を拝聴した。午後はグループに分かれ、横手南中学校の佐藤潤先生「季節を彩る文様～ 横手の四季をＰＲするためのカレンダーをつくろう～ 」の指導案をもとに、「子どもが造形的な資質・能力を働かせ、自己の学びを自覚できる図工・美術の指導について」という視点で協議を行った。令和７ 年度に開催する東北造形教育研究大会秋田大会に向けて県南地区合同で研修をすることができ、実りある機会となった。

○ 横手市教育推進委員会“ 自ら学ぶ子ども”の育成推進事業授業研究会

・横手市が取り組んできている事業であるが、今年度は十文字・平鹿地区の公開授業が行われ、造形教育研究会としては平鹿中学校の佐藤朋子先生の授業「あの日、あのとき、あの気持ち」を参観し、研修を深める機会になった。３ 年生として既習事項を生かして表現方法・材料・技法を選択し、自分の内面を表現するという題材であった。話合いの場面を一斉に設けずとも、制作中自分の必要に応じて仲間に聞いたり、教えたりする活動が自然発生的に行われていた。また制作中、会員が作品について質問すると、自分の制作意図や根拠についてしっかりと語る姿が見られ、「自ら学びを創る子どもの育成～ 生徒が自ら考え動き出す授業づくり～ 」を確かな形として見ることができた。

○ 第50回横手市児童生徒美術展、秋田県児童生徒美術展地区審査

・昨年度に引き続き、平日のみの開催となった。休日を挟んだ日程を組むことの難しさを感じている。しかし、会場については毎年同じ場所を利用しているので、保護者や地域の方々には認知されていること、また、搬入出の作業についてもスムーズに行えているという利点がある。このことを踏まえて次年度は日程の調整を図りたい。昨今、造形教育研究会の会員は各校にほぼ一人ずつ、あるいは会員のいない小学校もあるという状況であるため、題材の選択や進め方等、ちょっとした疑問もなかなか相談する相手がいない。そんな中で、県の美術展に向けた審査は数少ない交流の場になっているので、より多くの学校が出品でき、審査を通して研鑽できる機会にできればよいと考えている。